

海外派遣留学プログラム「帰国報告書」

記入日	2024/2/5
所属学部・研究科・学府	教育学部
所属学科・専攻	特別支援教育コース
留学時の学年	学部4年

1. 留学先について

留学先大学名	国立清華大学								
留学先所属学部等	生命科学院								
留学期間	出発日	2023/9/7	入学日	2023/9/11	修了日	2024/1/12	帰国日	2024/1/14	
住居	<input checked="" type="checkbox"/> 大学(紹介)の寮・アパート	<input type="checkbox"/> 民間アパート	<input checked="" type="checkbox"/> その他 ()						
	住居の決め方	キャンパス内にあり通学しやすく費用も安かったため、学生寮に決めました。							
	通学時間	5~10分						<input checked="" type="checkbox"/> On campus	
	通学方法	徒歩							
	居室スペース	<input type="checkbox"/> 個室	<input checked="" type="checkbox"/> (4) 人部屋	<input type="checkbox"/> その他 ()					
	共有スペース	<input type="checkbox"/> 完全個室	<input checked="" type="checkbox"/> キッチン	<input type="checkbox"/> トイレ	<input checked="" type="checkbox"/> バス	<input type="checkbox"/> リビング	<input type="checkbox"/> その他()		
食事	自炊	10 %	学食	80 %	外食	10 %	その他 % ()		
保険	海外旅行保険 (名称・加入プラン名)	JTB 留学生トータルサポートプログラム プランG							
	留学先国・大学指定保険 (名称・加入内容)	なし						<input type="checkbox"/> 加入必須	
	その他加入保険	なし							
渡航ルート	ex.) 成田⇄シカゴ(飛行機)⇄ウィスコンシン(電車)								
	成田	⇄	高雄(飛行機:通常は桃園空港から)	⇄	新竹(電車)				

2. 留学資金の内訳

自費	<input checked="" type="checkbox"/> 貯金	83,700	円	<input type="checkbox"/> アルバイト	円	<input type="checkbox"/> その他	円
援助	<input type="checkbox"/> 親	円	<input type="checkbox"/> 家族・親戚	円	<input type="checkbox"/> その他	円	
奨学金	<input checked="" type="checkbox"/> JASSO	240,000	円	<input type="checkbox"/> その他名称 ()	円		
その他	<input type="checkbox"/> ()	円					

3. 留学にかかった費用

総費用	約	323,700	円
-----	---	---------	---

3-1. 留学にかかった費用：内訳

費目	外貨金額		円貨金額	
	通貨単位			
渡航費(往復)			78,980	円
JTBトータルサポートプログラム (海外旅行保険・危機管理サービス)			76,220	円
その他の保険料			0	円
査証・在留許可証			13,500	円
住居	元 (新台幣ドル)	11,380	54,000	円
光熱費			0	円
通信費 (Wi-Fi、SIMカードなど)			4,500	円
食費			91,000	円
通学に要する交通費			0	円
教科書、教材費			5,500	円
その他大学に支払った経費				円
その他 ()				円
その他 ()				円
その他 ()				円

3-2. 各費用の支払い方法

大学に払った費用	現金
住居にかかった費用	現金
その他	LINEPay、クレジットカード

3-3. お金の管理方法

渡航時	<input checked="" type="checkbox"/>	現金	100,000	円	<input type="checkbox"/>	その他 () 円	
留学中	<input type="checkbox"/>	海外送金	<input type="checkbox"/>	キャッシング	<input checked="" type="checkbox"/>	その他 (クレジットカード)	
現地での 口座開設	<input type="checkbox"/>	開設した	用意した書類や 気を付けること等 ()			<input checked="" type="checkbox"/>	開設しなかった

4. 学業面

4-1. 履修科目一覧

履修科目名	種類 ex.正規/聴講	単位数	単位互換			
1 初級華語二	正規	4		有	○	無
2 人體生理與解剖學	正規	3		有	○	無
3 細胞生物學	正規	3		有	○	無
4 神經生物學	正規	3		有	○	無
5 內科學概論	正規	1		有	○	無
6 腦科學與教育	正規	3		有	○	無
7 資優學生心理輔導	正規	2		有	○	無
8 資賦優異教材教法(1)	正規	2		有	○	無

4-2. 授業科目の選択, 登録方法

履修登録の期間が3回あり、1、2回目は主に学部学科生優先、3回目は全学生可という感じでした。1、2回目は学期開始前(8月頃)、3回目は学期開始後(9月中旬)2週間程でした。(交換)留学生にはこれ以外にも学期開始1か月後(10月頃)に履修取り消し期間が設けられていました。

4-3. 授業内容, 方法に関して

生命科学院にて細胞生物学や神経生物学など、生命科学分野の講義を受講していました。神経生物学は全て英語での開講でしたが、それ以外の講義は全て中国語でした。英語のスライドが講義前に配布されるのですが、量がとても多いので予習が大変でした。加えて、卒業論文で台湾のギフテッド教育をテーマとしていたので、ギフテッド教育(資賦優異教育と呼ばれています)に関する講義も受講していました。グループ発表や校外参訪の機会も多く、実践的な学びができたと感じています。

4-4. 語学力について

台湾の中国語は台湾中国語もしくは台湾華語と呼ばれ、中国大陆の中国語とは少し異なります。いちばんの違いは簡体字ではなく繁体字を用いることだと思います。漢字に慣れている日本人にとっては台湾で使われている繁体字が圧倒的に分かりやすいです。細かな言い回しや発音などが大陸とは異なりますが、台湾に行ってから生活の中で学んでいました。渡航前はHSKしか受けていませんでしたが、台湾に行くならTOCFLにも挑戦しておけば良かったかな、とも思います。また、街中やお店などでは英語で対応してくれる人も多いので、ある程度の英語とある程度の中国語があれば何とかかなりました。

4-5. 図書館など学内施設について

図書館には研究個室、討論室、動画視聴スペースなどもあり、夜間自習室が併設されており、テスト期間には徹夜で勉強をする学生もいるようでした。本館だけでなく化学分館、人文社会学分館、南大(教育キャンパス)分館とあり、授業の場所によって使い分けていました。

5. 生活面

5-1. 住居について

大学の寮に居住していました。交換留学生のみ同じフロアに集められており、4人一部屋でした。シャワーは一フロアに2つのみなので、被らないよう早い時間に済ませるなどしていました。

5-2. 食生活について

大学内にフードコートのように飲食店がたくさんあるので、基本的に毎日そこで食べるか持ち帰りで寮の自室で食べていました。調理スペースはありましたが電子レンジくらいしかなく、調理をすることは難しかったです。野菜が少なく揚げ物が多いので、野菜の多いお店を選んだり果物で補うなど心掛けました。ドリンクスタンドもたくさんありとても安くて種類も豊富なので、色々試してみるのも楽しかったです。

5-3. インターネット環境, 携帯電話について

大学キャンパス内はどこでもWi-Fiを使用できるので、特別に契約をすることはしていませんでした。寮では共有スペースでしかWi-Fiは使えませんが個人の机では有線LANが使用できるので、パソコン等が必要な時にはつなげていました。旅行に行く際だけe-SIMを購入していました。

5-4. 服装について

9-10月までとにかく暑く、半年間ほとんど半袖で過ごしていました。1月でもそれほど寒くない日が多く、薄い長袖と軽めの上着で十分でした。

5-5. 健康管理について

特にあまり気にしていませんでした。日本から常備の頭痛薬を持っていったくらいです。ただ食べ物は、野菜が多くなく肉は揚げられていることが多いので、胃腸を悪くしないように気にしてはいました。私は強い方なので特に大丈夫でしたが、弱い人は夜市など屋台のものを食べる時だけは少し気をつけたほうがいいのかなとは思いますが。薬局に行けば日本の薬も大抵揃っていました(値段は高めですが)。また、台湾はバイクがとても多いので、交通量の多い大きな道路を歩くときは特に喉の弱い人は気をつけたほうがいいかもしれません。

5-6. 保険, 危機管理サービスの利用について

なし

5-7. 課外活動について

なし

5-8. 学外のコミュニティとの交流について

なし

5-9. 日本から持参してよかったもの

電子レンジでお米を炊く容器(百均)、S字フック

5-10. 日本から持参したが不要だったもの

なし

5-11. 現地での対人関係について気づいたこと(習慣の違い, マナーなど)

見知らぬ人でも気にかけて親切にしてくれる人がとても多かったです。困ったことがあれ中国語でも英語でもどんどん話しかけにいて大丈夫です。

5-12. 余暇の過ごし方

旅行

台東旅行 期間：2023年9月15日～17日（3泊4日）

台南観光 期間：2023年10月8日～9日（1泊2日） 費用：約1,500元（日本円で約7,000円）

高雄観光 期間：2023年12月30日～2024年1月2日（3泊4日） 費用：約2,000元（日本円で約9,500円）

台中観光 期間：2024年1月7日（日帰り）

その他

(もともと読書が趣味なので、)大学図書館の人文社会学分館で見つけた日本の小説を借りて読んでいました。

6. その他

6-1. 留学希望者へのアドバイス

特に派遣留学のような長期の留学の場合、準備や調整すべきことがたくさんあり、とても大変だと思います。特に私のように教育学部の学生だと、教育実習などもあるので留学の時期も考えなければならずハードルが高く感じるかもしれません。けれどもし、留学してみたいという気持ちが少しでもあるのなら、とにかくやってみてほしいと思います。理解して応援してくれる人は必ずいるはずですし、留学でしか得られないことはたくさんあります。もちろん語学を始め、クリアしなければならない課題は多いかもしれませんが、とにかく挑戦してみしてほしいと思います。

6-2. 留学を終えて

私の場合派遣留学の時期が卒業論文執筆の時期と被っていたため、卒業論文のテーマで台湾を取り上げて、アンケート調査や学校訪問など、講義を受ける以外にも自身で機会を探してデータ集めをしていました。テスト期間の合間に論文を執筆するのは時間的にもとても忙しかったですが、せっき台湾の教育を実際に見聞きすることのできる絶好の機会だったので、現地で調査をできてとても良かったと思っています。拙い中国語で全て自分で機会を見つけて取り組まなければならず大変でしたがとても自信ができました。卒業後は他分野ではありますが大学院に進学する予定なので、国内外問わず自身で機会を掴んで研究に取り組んでいけたらと思っています。

